3-2 現代的な諸課題に対応していく

SDGsへの取り組み

SDGsと関連の深い各単元の内容には、SDGsアイコンを付して、持続可能な社会への意識を高められるようにしています。巻末では、学習内容とSDGsとの関連をまとめています。また、6年では最初と最後の単元でSDGsについて学ぶ構成にしているため、年間を通してSDGsについて考えることができます。

6年p.9「地球と私たちのくらし」

6年p.72「生き物どうしのかかわり」

6年では、持続可能な社会の構築のために自らができることを考える場面を設けているよ。児童自身が持続可能な社会の担い手であることを、実感できるようになっているんだ。

3年p.174

4年p.198

5年p.166

防災・減災教育への取り組み

6年「変わり続ける大地」では、地震と火山の噴火による大地の変化について学び、それらを生かして、自然災害や防災・減災について考える構成にしています。

6年p.112~115「変わり続ける大地」

3-3 安全で、充実した理科学習

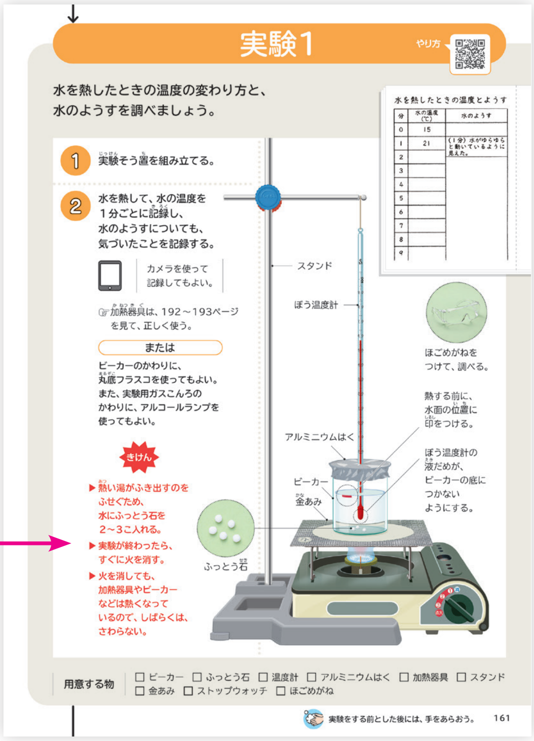
安全教育

きけん

▶ 熱い湯がふき出すのをふせぐため、水にふっとう石を２～３こ入れる。

▶ 実験が終わったら、すぐに火を消す。

▶ 火を消しても、加熱器具やビーカーなどは熱くなっているので、しばらくは、さわらない。



4年p.161「水のすがたと温度」

安全に対しての配慮が必要な場面では、もれなく「きけんマーク」を付け、禁止事項とその理由を赤字で強調しています。

生命尊重

生命愛護や環境保全に関わる内容には、「かんきょうマーク」を付けて強調しています。

トンボやバッタなどを持つときは、からだやはねを、そっとつかむようにしましょう。また、かんさつしたら、もとの場所に放しましょう。

感染症対策

他者と器具を共用する可能性のある観察・実験などでは、「手洗いマーク」を付け、手洗いを促す記述を入れています。

かんさつをする前とした後には、手をあらおう。

3年p.73「こん虫のかんさつ」